

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

済生会は「生活に困窮し、医療を受けられずにいる人々を救済するように」と、明治天皇より賜った「済生勅語」を創立の起源としている。自らの窮状を訴えることのできない人々に手を差し伸べる「無料低額診療」や「なでしこプラン」は当会創立の精神であり、「持続可能な開発目標 (SDGs)」にある、「誰一人、置き去りにしない」を目標とし、医療と福祉のみならず、地域の環境や教育のテーマにも取り組みを広げ、持続可能な地域社会を目指していききたい。今後私たちは病院内にとどまるのではなく、自ら手を差し伸べ、地域の皆さんと共に学び、より健康な地域社会を育てる「アウトリーチ」活動を様々な分野で進めていききたいと考えている。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	温暖化防止の取り組み (済生会として温暖化対策を行っており、実施状況報告書を毎年本部へ提出)	2018年度を基準とし 2021年度-5% →2024年度-10%
○環境 ◎社会 ◎経済	アウトリーチ活動の推進 (健康教育、食育などを通じた地域活性化・持続可能な地域社会の実現)	アウトリーチ PJ での新規活動の実施 2021年3件→2024年8件
○環境 ◎社会 ◎経済	「生活困窮者・社会的弱者への支援拡大」(受療支援、地域の関係機関と連携した生活再建支援、生活物資の提供、ジェンダー平等への取り組み等)	支援活動の実施数 2021年10件 → 2024年15件

<パートナーシップ>

持続可能な地域社会の実現のため、行政や企業とコラボしながら「健康教育」「食育」などのアウトリーチ活動を推進する(既にイオンモールなどと実施済み)。具体的には事業計画のプロジェクトとしてアウトリーチの取り組みを進めている。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況: 第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

○環境 ○社会 ○経済			
-------------------	--	--	--

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。